

【 期 間 】 ・2015年4月～2016年3月

【 大 気 】 ・単位はNOx:ppm、ばいじん:mg/m³・ND:定量下限値以下(検出されない)・実績の値は測定実績の平均値を示しています。

【 水 質 】 ・単位はpHを除きmg/L・pH:水素イオン濃度・BOD:生物化学的酸素要求量・SS:水中の懸濁物質濃度・ND:定量下限値以下(検出されない)・実績の値は測定実績の平均値を示しています。

【 地 下 水 】 ・単位はmg/L・ND:定量下限値以下(検出されない)

【PRTR※データ】 ・単位はkg※1kg以下の数値は四捨五入しています。総量と取扱量の数値が一致しない場合があります。

【資源利用・排出量データ】 ・単位は廃棄物:t/年、温室効果ガス:t-CO₂/年、水:万m³/年

※Pollutant Release and Transfer Register(環境汚染物質排出・移動登録制度)

主な国内工場データ

春日工場

愛知県清須市
春日長畑1番地

主要製品

・機能部品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
ばいじん	0.1	ND
コージェネ(都市ガス)	0.05	ND
NOx	150	43
コージェネ(都市ガス)	600	160

■地下水

測定項目	環境基準	実績
トリクロロエチレン	0.03	ND～0.008
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	ND～0.014

※豊田合成レポートP29を参照

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
2-イミダゾリジンチオン	42	2,467	0	0	0	0	370	0	0	2,097
チウラム	268	1,828	0	0	0	0	99	0	0	1,729
トルエン	300	1,169	890	0	0	0	190	89	0	0

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	1,507
	排出物量	1,507
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	7,500
水	使用量	28.8

■水質(水質汚濁防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.8～8.6	7.2
BOD	25	4.8
SS	30	2.4
油	5	ND
全窒素	120	1.7
全リン	16	0.4
チウラム	0.06	ND

森町工場

静岡県周智郡森町
陸奥1310番地の128

主要製品

・ウェガストリップ製品
・機能部品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
ばいじん	0.3	0.01
NOx	260	89

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
亜鉛の水溶性化合物	1	1,484	0	0	0	0	59	59	0	1,365
アンチモン及びその化合物	31	4,183	0	0	0	0	209	42	0	3,932
2-イミダゾリジンチオン	42	3,267	0	0	0	0	131	131	0	3,006
エチルベンゼン	53	11,004	7,395	0	0	0	1,365	1,717	0	528
キシレン	80	12,716	8,563	0	0	0	1,594	1,975	0	584
ジスルフィラム	259	1,782	0	0	0	0	96	0	0	1,686
チウラム	268	10,683	0	0	0	0	577	0	0	10,106
トルエン	300	44,526	22,817	0	0	0	7,799	12,674	0	1,237
ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛	328	5,326	0	0	0	0	213	213	0	4,900
無水フタル酸	413	1,063	0	0	0	0	49	10	0	1,004
メチルナフタレン	438	17,306	87	0	0	0	0	0	17,220	0
メチルビス(4,1-フェニル)イソシアネート	448	3,262	0	0	0	0	326	0	0	2,936
2-メルカプトベンゾチアゾール	452	37,501	0	0	0	0	2,025	0	0	35,476

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	4,230
	排出物量	3,461
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	24,300
水	使用量	17.6

■水質(水質汚濁防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.8～8.6	7.3
BOD	25	4.7
SS	50	5.3
油	5	ND
チウラム	0.06	ND
亜鉛	0.5	0.2

平和町工場

愛知県稲沢市平和町
下三宅折口710

主要製品

- ・ウェザーストリップ製品
- ・機能部品
- ・セーフティシステム製品
- ・オプトエレクトロニクス製品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績	
ばいじん	ボイラー(重油)	0.15	ND
	ボイラー(都市ガス)	0.05	ND
	コージェネ(都市ガス)	0.05	ND
NOx	ボイラー(重油)	140	73
	ボイラー(都市ガス)	120	34
	コージェネ(都市ガス)	200	185

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
2-アミノエタノール	20	49,845	5	0	0	100	49,740	0	0	0
メチルナフタレン	438	2,191	11	0	0	0	0	0	2,180	0

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	1,043
	排出物量	978
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	17,400
	PFC排出量	900
	HFC排出量	200
水	使用量	25.7

■水質(下水道法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5~9	7.5
BOD	600	122
SS	600	39
油	30	2.3
全窒素	240	23
全リン	32	1.7
ふっ素	8	0.4

稲沢工場

愛知県稲沢市北島町
米屋境1番地

主要製品

- ・内外装部品
- ・機能部品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績	
NOx	ボイラー(都市ガス)	150	50
	コージェネ(都市ガス)	600	190

■地下水

測定項目	環境基準	実績
トリクロロエチレン ^{※1}	0.03	ND
シス-1,2-ジクロロエチレン ^{※1}	0.04	ND~0.008

※1 使用実績のない物質 ※豊田合成レポートP29を参照

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
エチルベンゼン	53	2,205	1,323	0	0	0	287	154	0	441
キシレン	80	6,956	4,174	0	0	0	904	487	0	1,391
クロム及び三価クロム化合物	87	2,529	0	20	0	0	2,003	0	0	506
六価クロム化合物	88	2,550	0	0	0	0	0	0	2,550	0
銅水溶性塩(錯塩を除く)	272	4,757	0	48	0	0	0	0	4,709	0
トルエン	300	34,318	19,936	0	0	0	6,360	2,402	0	5,620
ニッケル	308	138,622	0	0	0	0	0	0	138,622	0
ニッケル化合物	309	152,693	0	31	0	0	19,820	0	0	132,843
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	355	2,973	0	0	0	0	208	0	0	2,765
ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	395	7,550	0	0	0	0	0	0	7,550	0
ほう素化合物	405	2,026	0	20	0	0	0	0	2,007	0

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	3,702
	排出物量	2,077
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	13,100
水	使用量	57.1

■水質(水質汚濁防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.8~8.6	6.8
BOD	25	5.5
SS	30	4.4
油	5	ND
全窒素	120	13.6
全リン	16	1.3
六価クロム	0.5	0.01
全クロム	2	0.1
銅	1	0.1
ふっ素	8	0.1
ほう素	10	4.0

尾西工場

愛知県一宮市
明地字東下城40番

主要製品

- 内外装部品
- セーフティシステム製品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
ばいじん	0.05	ND
コージェネ(都市ガス)	0.05	ND
NOx	150	61
コージェネ(都市ガス)	600	175

■水質(下水道法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.7~8.7	7.1
BOD	300	62.8
SS	300	35.1
油	30	3.1

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
エチルベンゼン	53	9,725	5,835	0	0	0	1,264	681	0	1,945
キシレン	80	11,538	6,923	0	0	0	1,500	808	0	2,308
1,3,5-トリメチルベンゼン	297	1,167	700	0	0	0	152	82	0	233
トルエン	300	23,078	13,996	0	0	0	3,026	1,570	0	4,486
メチルピス(4,1-フェニル)ニゾシアネート	448	183,636	0	0	0	0	0	0	183,636	165,272

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	1,321
	排出物量	952
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	11,200
	SF ₆ 排出量	2,900
水	使用量	11.2

瀬戸工場

愛知県瀬戸市惣作町
141番地

主要製品

- 内外装部品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
ばいじん	0.2	ND
NOx	150	58

■水質(水質汚濁防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.8~8.6	7.3
BOD	20	0.9
SS	20	0.1
全窒素	10	0.6
全リン	4	0.0

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
キシレン	80	9,594	668	0	0	0	135	73	8,509	208
1,2,4-トリメチルベンゼン	296	9,868	49	0	0	0	0	0	9,819	0
メチルピス(4,1-フェニル)ニゾシアネート	448	63,889	0	0	0	0	6,389	0	0	57,500

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	754
	排出物量	754
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	5,900
水	使用量	2.7

神奈川工場

神奈川県伊勢原市
鈴川19番地5

主要製品

- 内外装部品
- 機能部品

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号(号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理)の合計	消費(製品)の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
トルエン	300	1,549	950	0	0	0	187	347	0	65

■資源利用・排出量データ

区分	実績	
廃棄物	発生量	111
	排出物量	111
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	800
水	使用量	0.3

北九州工場

福岡県北九州市
八幡東区大字前田
北洞岡1番地2

主要製品

- 内外装部品
- ウェザストリップ製品
- 機能部品
- セーフティシステム製品

■法律等違反なし ■苦情なし

■PRTRデータ

物質名	物質番号 (号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理) の合計	消費(製品) の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
エチルベンゼン	53	3,763	2,258	0	0	0	489	263	0	753
キシレン	80	4,871	2,339	0	0	0	589	1,261	0	682
クロム及び三価クロム化合物	87	3,032	0	0	0	0	2,425	0	0	606
六価クロム化合物	88	3,032	0	0	0	0	0	0	3,032	0
トルエン	300	24,425	11,674	0	0	0	2,948	6,463	0	3,339
ニッケル	308	48,312	0	0	0	0	0	0	48,312	0
ニッケル化合物	309	48,312	0	0	0	0	6,281	0	0	42,031

■資源利用・排出量データ

区分		実績
廃棄物	発生量	1,126
	排出物量	994
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	8,900
水	使用量	2.9

福岡工場

福岡県若宮若市倉久
2223番地1

主要製品

- 内外装部品
- 機能部品
- セーフティシステム製品

■法律等違反なし ■苦情なし

■水質(水質汚濁防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.8~8.6	7.4
BOD	10	1.1
SS	25	0.9
油	2	ND

■PRTRデータ

物質名	物質番号 (号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理) の合計	消費(製品) の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
エチルベンゼン	53	4,036	2,422	0	0	0	525	283	0	807
キシレン	80	4,718	2,831	0	0	0	613	330	0	944
トルエン	300	21,117	12,670	0	0	0	2,745	1,478	0	4,223

■資源利用・排出量データ

区分		実績
廃棄物	発生量	951
	排出物量	629
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	3,700
水	使用量	1.8

佐賀工場

佐賀県武雄市若木町
大字川古9966番地9

主要製品

- オプトエレクトロニクス製品

■大気(大気汚染防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
ばいじん ボイラー(都市ガス)	0.1	ND
NOx コージェネ(都市ガス)	150	35

■水質(水質汚濁防止法、県条例等)

測定項目	規制値	実績
pH	5.8~8.6	7.6
BOD	20	1.0
SS	50	0.6
油	5	ND

■法律等違反なし ■苦情なし

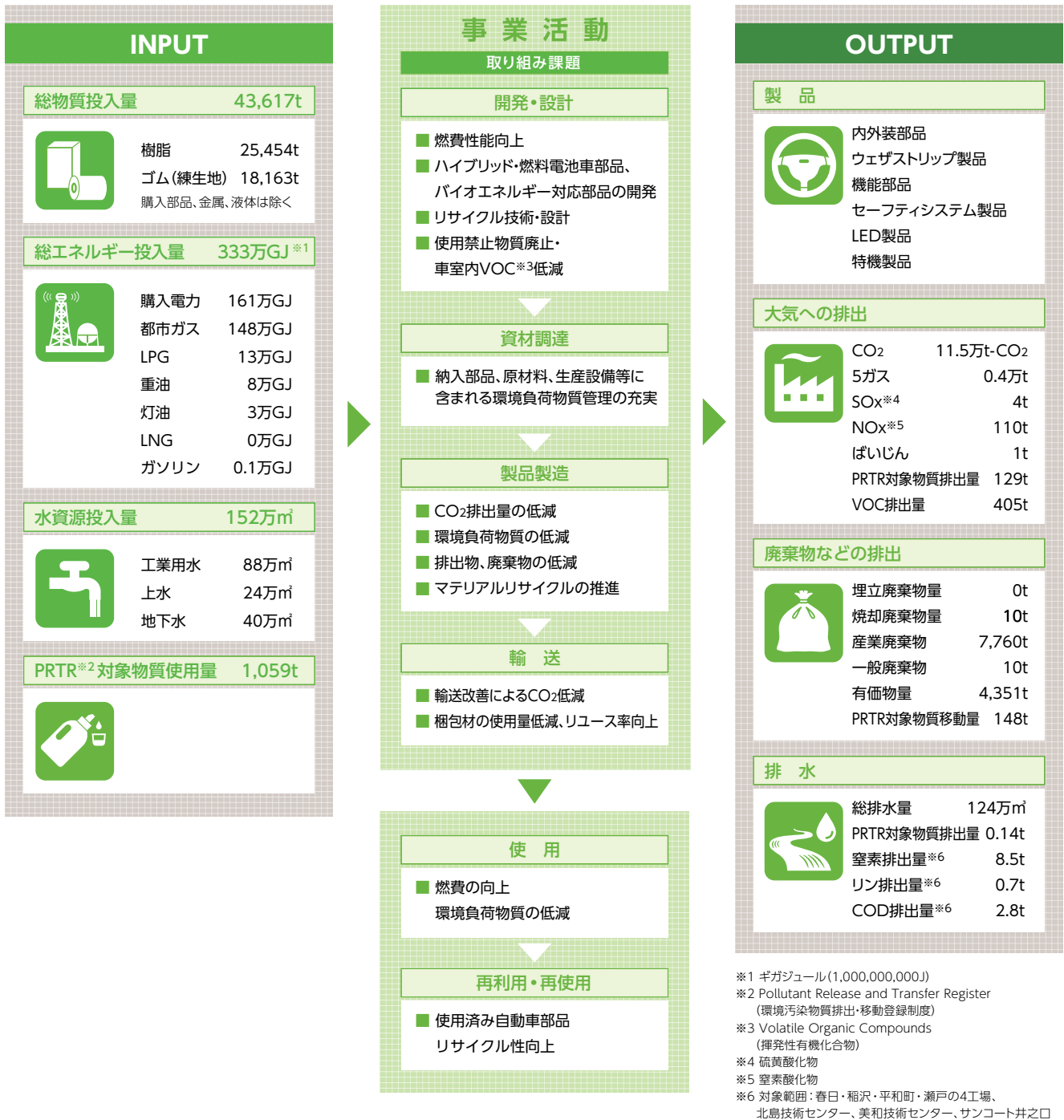
■PRTRデータ

物質名	物質番号 (号番号)	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	除去(処理) の合計	消費(製品) の合計
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量			
2-アミノエタノール	20	6,224	1	0	0	0	6,223	0	0	0

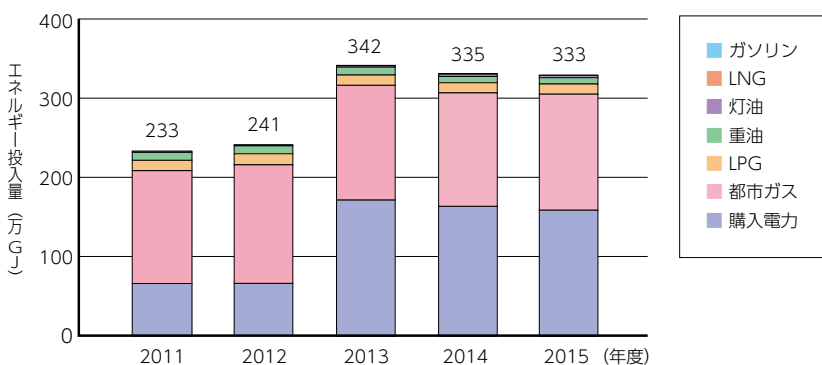
■資源利用・排出量データ

区分		実績
廃棄物	発生量	145
	排出物量	145
	最終処分量	0
温室効果ガス	CO ₂ 排出量	5,800
	PFC排出量	0
水	使用量	7.6

事業活動における2015年度の資源投入と環境への排出



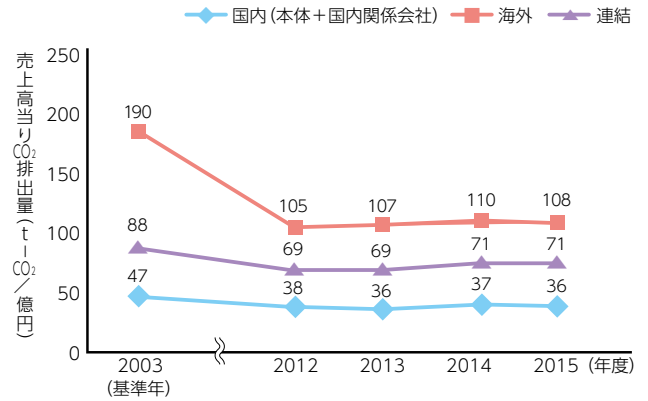
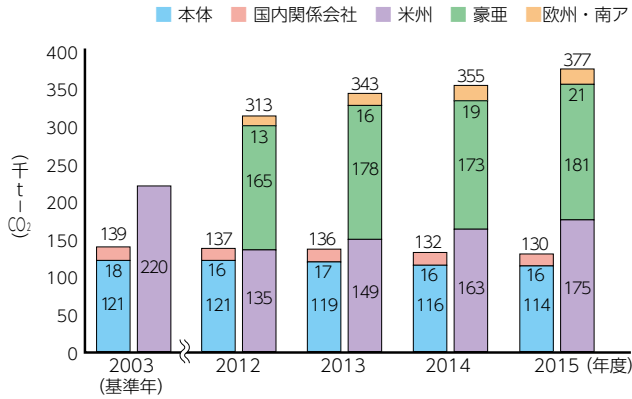
エネルギー投入量



温暖化ガス、排出物量、水資源使用量データ

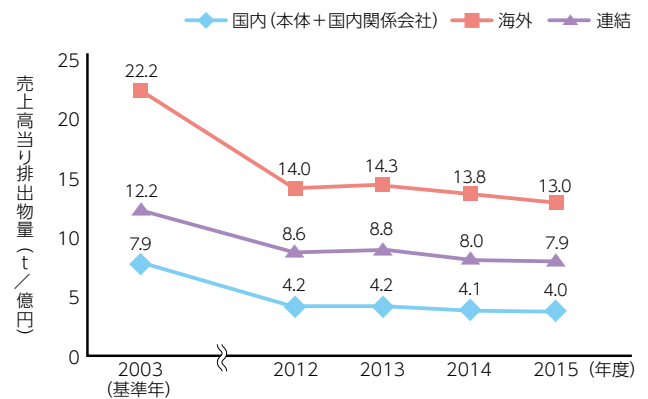
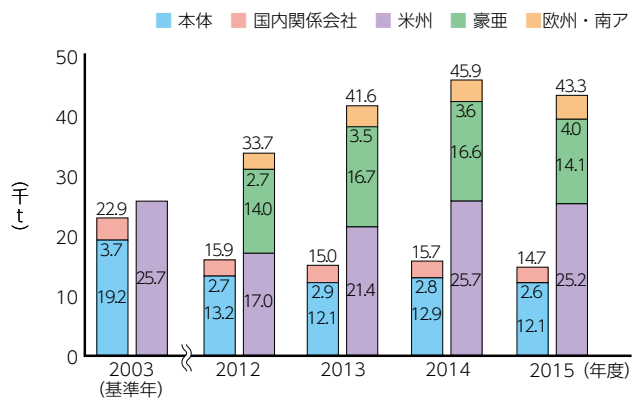
豊田合成レポート本紙より、対象会社を拡大して集計しているため、データは一部異なります。

温暖化ガス(CO₂)排出量・原単位の推移【エネルギー起因】

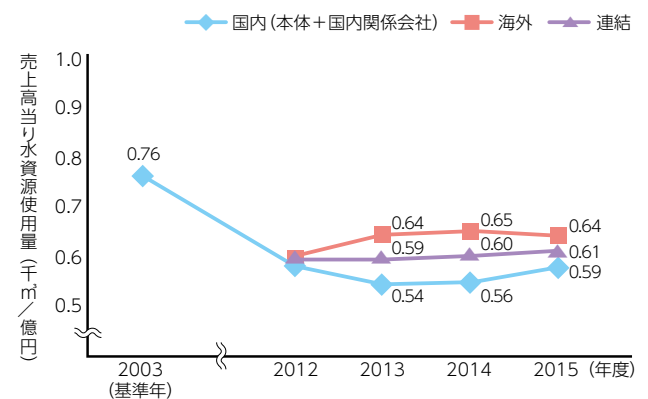
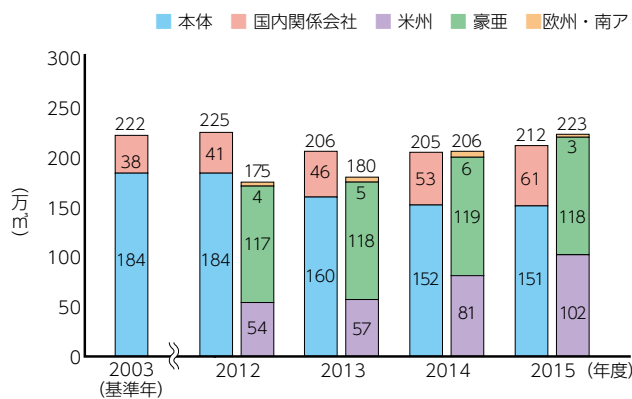


・CO₂換算係数：海外拠点 GHGプロトコル(2001年)
国内拠点 '90年経団連係数固定値(コージェネ補正あり)

排出物量・原単位の推移



水資源使用量・原単位の推移



・国内関係会社：2003年度データ推測値
・水資源使用量の削減は、2011年度から国内の取り組み(第5次環境取り組みプラン)を開始しました

化学物質取扱量及び排出量 (国内外関係会社)

豊田合成グループの国内外関係会社では各国の法令に基づき、化学物質取扱量、排出量、移動量、VOC 排出量を管理しています。下記に届出内容(2015年実績)を記載します。

国内関係会社

【日本】2社

適用法令: 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

(単位: t/年)

化学物質名	物質番号 (号番号)	取扱量	排出量			移動量	
			大気	水域	土壌	下水道への移動	廃棄物としての移動量
チウラム	268	1.6	0	0	0	0	0.05
1,2,4トリメチルベンゼン	296	1.2	1.2	0	0	0	0

海外関係会社

【アメリカ】1社

適用法令: Toxic Release Inventory

(単位: lbs/年)

	(8.1 a) 自社埋立	(8.1 b) その他自社排出 [大気・水質など]	(8.1 c) 他社埋立	(8.1 d) その他他社排出 [大気・水質など]	(8.2) 自社熱回収	(8.3) 他社熱回収	(8.4) 自社リサイクル	(8.5) 他社リサイクル	(8.6) 自社処理	(8.7) 他社処理
クロム	0	0.06	0	70,161	0	0	0	156,741	0	0
銅	0	0.12	0	59,739	0	0	0	131,650	0	0
エチレングリコール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マンガン	0	0	0	4,576	0	0	0	155,304	0	0
ニッケル	0	0.22	0	156,087	0	0	0	406,436	0	0
硝酸	0	578.2	0	0	0	0	0	0	0	766,686
スチレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8.1 a : Total on-site disposal to Class I Underground Injection Wells, RCRA Subtitle C landfills, and other landfills.

8.1 b : Total other on-site disposal or other releases.

8.1 c : Total off-site disposal to Class I Underground Injection Wells, RCRA Subtitle C landfills, and other landfills.

8.1 d : Total other off-site disposal or other releases.

8.2 : Quantity Used for Energy Recovery Onsite.

8.3 : Quantity Used for Energy Recovery Offsite.

8.4 : Quantity Recycled Onsite.

8.5 : Quantity Recycled Offsite.

8.6 : Quantity Treated Onsite.

8.7 : Quantity Treated Offsite.

【カナダ】1社

適用法令: National Pollutants Release Inventory

(単位: t/年)

VOC排出	25
-------	----

【台湾】1社

適用法令: 空氣汚染防制費收費辦法

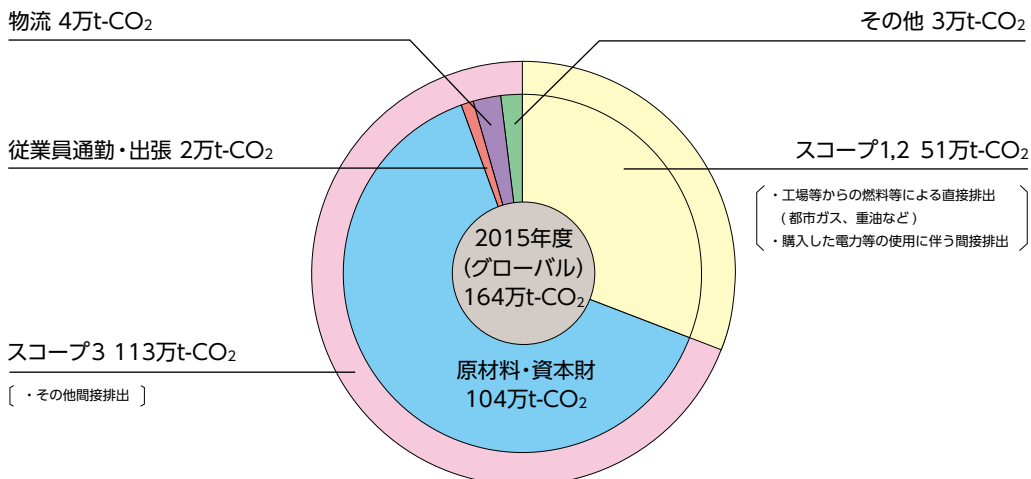
(単位: t/年)

VOC排出	48
-------	----

化学物質削減目標

海外法に基づき、2019年度までにフタル酸全廃を目標に取り組んでいます。

スコープ別CO₂ 排出量



検証意見書



2016年11月4日

豊田合成株式会社 御中

検証目的

SGSジャパン株式会社(以下、当社)は、豊田合成株式会社(以下、組織)からの依頼に基づき、組織が算定した温室効果ガス排出量(以下、GHGに関する主張)について、ISO14064-3:2006及び当社の検証手順(以下、検証基準)に基づいて検証を実施した。

本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHGに関する主張について、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。

検証範囲

検証対象範囲は、組織の国内工場、本社、技術センター・物流センターであり、Scope1,2はエネルギー起源の二酸化炭素排出量、及びコジェネ運用に伴う計算上の電力起源の二酸化炭素低減量を対象とし、Scope3はカテゴリ-7を対象としている。

対象期間は2015年4月1日～2016年3月31日である。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：本社、春日工場の現地検証及び証憑突合、及び北島技術センターにおけるその他検証対象範囲に対する分析的手続及び質問

判断基準は、組織で定めた基準を用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHGに関する主張(Scope1: 85,243t-CO₂、Scope2: 61,953t-CO₂、Scope3: 3,050t-CO₂、コジェネ運用に伴う計算上の二酸化炭素低減量: 32,193t-CO₂)が、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

SGSジャパン株式会社

認証・ビジネスソリューションサービス
事業部長
上級経営管理者

竹内 裕二

